

いわた
文化財だより 第231号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和6年6月1日発行

目次

- 特別史跡 遠江国分寺跡
金堂木装基壇の整備工事が完了しました！ P1～2
- 特別史跡 遠江国分寺跡の
追加発掘調査報告書を刊行しました！ … P3
- 『大めしまつり』市公式 YouTube で公開中！ P4
- コラム『歴史文書館の平常展』笹竹希美 … P4

特別史跡 遠江国分寺跡

もくそう きだん
金堂木装基壇の整備工事が完了しました！



完成した金堂木装基壇（南西から撮影）



整備された木装基壇（南から撮影）

磐田市では、平成17年度より特別史跡遠江国分寺跡の再整備事業に取り組んでおり、最新の調査・研究成果に基づき『整備基本計画』を策定しました。

令和3年度からは、現地にて再整備工事を着手し、これまでに講堂（僧が経典を学ぶ建物）と僧房（僧の寄宿舍）の整備が完了しています。

そして、令和5年度には金堂の木装基壇を対象に整備工事を進めてきました。今回は、完成した金堂の木装基壇について、見どころをご紹介します！

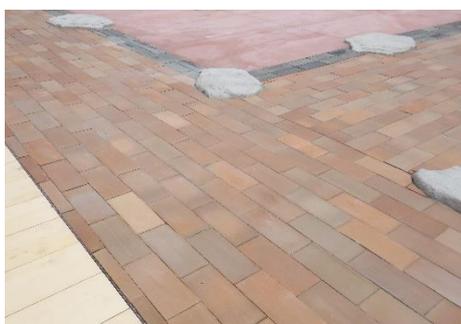
ここが見どころ！金堂基壇

金堂は、国分寺の本尊を安置する寺院の中心であり、さまざまな儀礼の場にもなる建物です。発掘調査では、東西 33.5m×南北 22.9mの木装基壇が発見されました。

整備工事では、盛土を行って地下に当時の遺構を保護し、その真上に実寸大の木装基壇を復元しています。



金堂のものと伝わる礎石



敷き詰められた埴



復元された石階段

見どころ①：礎石^{そせき}

礎石は、建物の柱を支える土台となる石材です。遠江国分寺跡には金堂のものと伝わる礎石が4基残されていました。

また、発掘調査の結果、金堂には36基の礎石が置かれていたことが判明しています。

整備では、伝存する4基の礎石を活用しつつ、失われた32基の礎石を復元して配置しています。

見どころ②：埴^{せん}

埴とは古代のレンガで、遠江国分寺跡の発掘調査では金堂や塔などから出土しています。

整備では、出土した埴（長さ45.5cm×幅19.5cm×厚さ8.8cm）を参考に複製品を作成し、金堂では3,000枚以上を基壇上面に敷き詰めています。

また、当時建物の壁があったと推測される部分には黒色の埴を配置して、その位置を表示しています。

見どころ③：石階段

発掘調査では、金堂正面から石階段が3段分発見されました。復元すると、石段6段+葛板1段の計7段の階段になります。

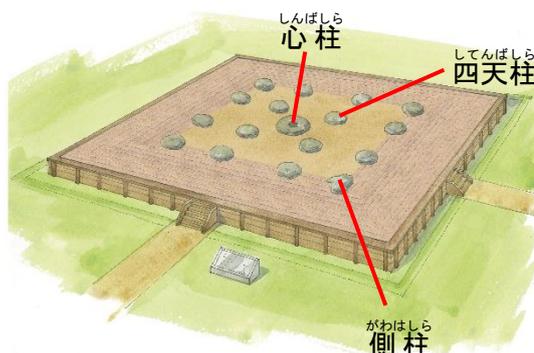
整備では、本来の石階段を地中に保護したうえで、奈良時代の姿を復元しています。踏石は擬石コンクリートで製作し、外見が実物（貝化石石灰岩）に近くなるよう工夫しています。

令和6年度 遠江国分寺跡整備事業について

令和6年度は、塔基壇の整備工事を実施します。現在、塔跡には七重塔の心柱^{しんぼしら}を支えていた心礎（直径約2m）と側柱^{がわほしら}の礎石が残されており、それらの大きさを引き続き現地で体感できるように整備を行う計画です。

また、失われた15基の礎石を復元し、基壇上面には金堂と同じく埴を敷き詰めます。

塔基壇の整備完了を楽しみにお待ちください。

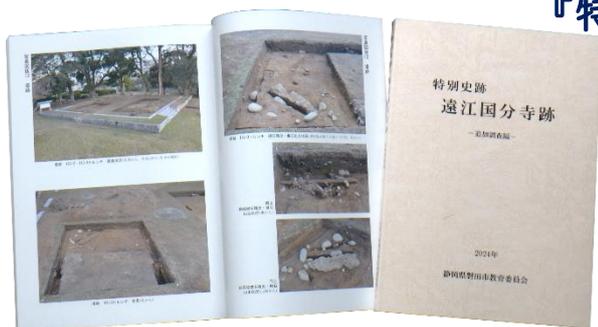


塔基壇整備イメージ図

特別史跡 遠江国分寺跡の 追加発掘調査報告書を刊行しました!

文化財課では、このほど、国の特別史跡・遠江国分寺跡の再整備に関連して実施した追加調査（発掘調査及び関連調査）の報告書を刊行しました。この調査報告書は、磐田市内の図書館（中央・竜洋・福田・豊岡）や埋蔵文化財センターで閲覧できるほか、埋蔵文化財センターで販売しています。

『特別史跡 遠江国分寺跡 追加調査編』



『特別史跡 遠江国分寺跡 追加調査編』

A 4版、227 ページ

(本文 196 ページ、写真図版 31 ページ)

【販売価格】1部 3,000 円

【販売場所】磐田市埋蔵文化財センター
(磐田市見付 3678-1、電話 0538-32-9699)

※『特別史跡 遠江国分寺跡 本編』、『特別史跡 遠江国分寺跡 本編補遺・遺物資料編』も販売中

報告書の内容について

この発掘調査報告書では、塔跡や金堂跡で検出された遺構のほか、新たに見つかった掘立柱建物跡などを紹介し、出土した土器、瓦、金属製品の図や写真を掲載しています。

このほか、論考として、出土した瓦や中世以降の国分寺、国分寺に使われた岩石について、研究者の論考を掲載しています。

主な調査結果

遠江国分寺を造営するにあたって、資材をどこから調達したのかがわかりました。

塔や金堂に使われた礎石は、磐田市の敷地付近から、金堂の石段の石は菊川市付近から、金堂の壁土の表面を白く塗った土は御前崎市付近から調達していました。瓦は掛川市で生産し、これらはいずれも主に水運を使って運んだものと考えられます。



礎石の残欠

国分寺の造営については、造営資材の調達地がここまでわかるのは全国でも稀です。また、遠江国内の各地が協力して造営にあたった様子がうかがえ、また隣国の駿河や三河の国分寺よりも早く造営に着手した様子もうかがえます。

文化財課発行の刊行物

市ホームページで、文化財課発行の刊行物（販売図書）一覧を公開しています。発掘調査報告書のほか、市史や写真集、概要書もあります。右の二次元コードからもご覧いただけます。



報告書



市史



一般書

磐田市指定無形民俗文化財

『大めしまつり』市公式 YouTube で公開中



直会でならぶ配膳

「大めし祭り」は、磐田市富里の^{さぎさか}勾坂西下組に伝わる神事・仏事^{なおり}の後の直会で、嫁いできたお嫁さん（初嫁さん）を大盛りのご飯などでもてなす民俗行事です。

右、二次元コードから、映像をご覧ください。

文化財課では、無形民俗文化財を調査・記録し、映像として将来に残す事業を進めています。

昨年度作成した『大めしまつり』の映像記録（短縮版/3分程度）が磐田市公式 YouTube でもご覧いただけます。

ぜひ、ご覧ください。



職員リレー コラム

歴史文書館の平常展

笹竹希美

歴史文書館では、企画展を年に一回開催していますが、それ以外の期間には平常展を開催しています。企画展・平常展のどちらも歴史文書館に足を運んでいただけるような展示にしようと担当者が悩みながら内容を考えています。

現在、2階展示室では平常展「明治時代の教科書を読む～遠江^{ふどか}風土歌～」を開催中です。明治初期頃、浜松県下の小学校で副読本として採用されていた「遠江風土歌」を通して、「くずし字」を知っていただくために準備した展示です。

「遠江風土歌」には、遠州の地形や名所など様々なことが書かれており、一冊で当時の遠州の様子がよく分かります。「くずし字」で書かれてはいますが、ふりがながふられているため読みやすくなっています。

展示室で開催する展示は、年に数回入れ替えをおこなうため、「遠江風土歌」の展示を見られるのは6月28日までです。ぜひ、お越しください。



歴史文書館展示室

- 磐田市岡 729-1 ■ 電話 0538-66-9112 FAX0538-66-9722
- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日 土曜・日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）

ご来館
お待ちしております



歴史文書館イメージキャラクター文字朗

編集後記 埋蔵文化財センターの展示替えをおこないました！国重要文化財の土製品も本物を展示中です。平日だけでなく、土日も開館していますので、ぜひご来館ください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田 文化財だより

検索